



[ホーム](#) > [プレスリリース](#) > [プレスリリース \(2005年\)](#) > 日本ゼオン、大型液晶テレビ用のゼオノアフィルム生産能力増強

日本ゼオン、大型液晶テレビ用のゼオノアフィルム生産能力増強

2005年10月12日

日本ゼオン（株）（社長 古河直純）は、2004年10月に上市した新ゼオノアフィルム®（延伸フィルム）が、2005年初めから順次大型液晶テレビに搭載され、採用が急速に拡大していることを受け、その能力増強に着手した。増強設備は当社100%子会社である（株）オプテス（代表取締役 梅沢佳男）高岡工場に設置する。

今回の増強は、大型液晶テレビへの旺盛な需要から、2007年度に保有予定の生産能力増強計画を前倒し、2006年までに実施完成させるものである。具体的には、光学フィルム原反の生産能力を4,000万平方メートル／年に、新ゼオノアフィルム®（延伸フィルム）も3,000万平方メートル／年に増強する。なお、順次増強を進めており、一部はすでに稼働している。

また、将来さらに大きな需要が見込まれることから、光学フィルム原反と新ゼオノアフィルム®第二工場の建設検討を開始した。

当社は、2002年10月に世界で初めて溶融押出し法による光学フィルムの製造に成功し、位相差フィルム用の原反フィルムであるゼオノアフィルム®の販売を開始し2005年2月には 第二次増強を終了している。ゼオノアフィルム®は高透明性、低複屈折、低波長分散、低光弾性などの優れた光学特性を有するとともに、低吸湿性、高耐熱性などの特徴を有しており、液晶用光学フィルムとして優れた耐久性の提供が可能である。

新ゼオノアフィルム®はゼオノアフィルム®を延伸し位相差機能を付与したものであり、優れた光学特性と耐久性を有した位相差フィルムであり、加えて(1)位相差機能と偏光板保護機能を兼ねる。(2)ロールツウロールでの偏光板製造が可能。(3)画面の安定性向上に寄与するなどの特徴を持つ。

この結果、部材点数の削減および製造プロセスの簡略化が期待できる。また、品質面では偏光板の耐久性能が向上、画面の周囲の光漏れによるコントラスト低下の問題を克服できることから大型液晶テレビへの採用が拡大しているものである。

 本件に関するお問い合わせ

日本ゼオン株式会社 **CSR**統括部門 広報室
Tel : 03-3216-2747

[▶ お問い合わせフォーム](#)